# 『や気象変化も学びながら、 八幡平を楽しんでほし

旧八幡平スキー場跡地を活用し 大黒森管理組合の代表理事に就任 バックカントリーエリア整備に取り組む

くどう・よしみつ 充 47 歳 =間羽松=

さん 昭和52年生まれ。農業を営む。主食用水 飼料用米6%の管理、刈取りな どの作業受託のほか牧草採草に携わる。 20代の頃、スキー・モーグル種目で、全 日本選手権に7回連続出場。自己最高位 2004年の17位。楽しみは、仲間との ・ベキュー。 好きな言葉は 「温故知新」

嘉充さん。

さんらとともに活動してきた。 組合を結成。創設時から鈴木

の閉鎖を目の当たりにする。 近にあった旧八幡平スキー場 さまざまな山を滑る中で、 込んだ工藤さん。海外も含め 出場するほどスキーにのめり 20代の頃、 全日本選手権に 身

げたのは、手入れがなされなく たゲレンデ跡地。組合を立ち上 好家の穴場エリアになってい ると危機感を感じた」からだ。 せっかくの雪を楽しめなくな なり、木が繁茂し始めた状況に ふかふかな雪質で、BC愛

める。

鈴木央司さんからバトンを受 合の代表理事に就任した工藤 け、9月に大黒森管理協同組 前任の どで滑る ドな ちだが、このエリアがどうあ るべきか、 今では人気事業になっている。 も実施。手軽さや珍しさから、 行車で輸送するキャット事業 キャット運行が注目され 組合では、入山者を雪上走 何度も協議を重ね

と太鼓判を押すのは、

全国でも有数だと思います

八幡平の雪質の良さは、

リー(BC)※を楽しめる場と 閉鎖)の跡地を、バックカント 元年に地元ガイドと9人で同 旧八幡平スキー場(平成19年 令和 ※未圧雪の雪上をスキ やス に考え、刈払いや雪崩事故防止 夕を防災科学技術研 積雪データも公開。 工藤さんは 講習を行うほか、定点観測する てきた。利用者の安全を第一 いことを知ってほしい」と語る。 雪や気象の変化は目まぐるし 今年は、 市を通じ積雪デー 究所

して維持管理するため、

組みも進めている。 対策に役立てようとする取 てほしい は「笑顔で八幡平を訪れた人 (NIED)※に提供。 もっと笑顔になって帰っ 工藤さん 崩 ※防災に関す

> 快く取材に応じていただきました 本市の雪や雪原は、これを目当て



キャットを使い現地で安全対策 講座を開催(写真:組合提供)

り、楽しみながらイベント会場を巡

きました。スタンプラリー企画もあ

楽しんでいる様子を見ることがで

したが、さまざまな人がイベントを

ちマルシェを取材。あいにくの雨で

者の支えがあると感じました。 智 ですが、環境整備には多くの関係 に、多くの人が訪れる貴重な資源

>今回で2回目の開催となったは

良いことを願うばかりです。 りました。来年開催する際は天気が 広 告】

る科学研究を行う国立研究開発法人

# 関節の痛み・変形、 生活習慣病 痩れ、

	専門家が丁寧に診察いたします。							
			月	火	水	木	金	±
			整	整	整	内	整	整内
		8:45~ 11:30	•	•	•	•	•	•
		13:45~ 17:30	•	•	_	•	•	_
	整=整形外科 内=内科							

TEL.0195-76-231 (幡平市大更25-117-2

思いで、大黒森管理組合の工藤さん を取材。農作業の繁忙期でしたが ▽冬を迎える機会を捉えて、という

※広報はちまんたい11月7日号(No.353)の印刷経費は1部90.58円、発行部数は9,687部です。経費の一部は広告料で 賄われています。広告掲載については、㈱総合広告社(☎019-626-3370)まで。

